

公民館【概要版】

かつらぎ町公民館施設整備計画【概要版】

計画期間：令和3年度～令和12年度

1. 目的

本町において、地域コミュニティの活動拠点施設として中心的な役割を果たしている公民館の今後のあり方を見据え、安全性、利便性、長寿命化などを施設整備上の重要な視点と位置づけ、各館の状況に応じた整備基準と適正な施設規模等を定めることを目的とした整備計画を策定いたします。

2. 現状と課題

単独型の公民館では、多くが建築後約40年から50年が経過しており、かつらぎ町公共施設等総合管理計画にある公共施設の大規模改修の目安とする建築後30年を大幅に経過し、改修あるいは建替えの目安である60年も近づいています。また、避難所に指定されている館が3館（複合型含む）、耐震化がなされていない館が4館になります。

3. 公民館施設整備の視点

◆耐震化による施設の安全性の確保

「安全・安心」感をもって利用できるよう、大きな地震にも耐えられる施設を目指します。具体的には新耐震基準以前に整備した公民館について優先的に改築や建替えを進めます。

◆高齢者や障害者など利用者の利便性の向上

公民館はだれもが利用しやすい施設であることが求められることから、特に高齢者や障害者、妊産婦や子どもなどを含めた利用者の向上を図ります。

◆施設の長寿命化を図るための計画的な整備

建築経過年数、耐用年数経過状況等を勘案します。

◆複合化の推進

今後の財政状況を見据え、貴重な財源を有効活用し、整備を行う必要があります。そのため、施設整備においては、施設の複合化、類似機能の共有化を進めます。

4. 公民館評価表（単独型）

建築後30年以上の5施設について築年数、建物の耐用残年数、トイレの利便性やエレベーター、耐震化の有無を比較評価し改修、建替え等を検討します。

◆単独型公民館施設等評価表

施設名	築年数			建物の耐用残年数			トイレの利便性	建物の利便性	評価点合計
	建築年度	築年数	評価点	耐用年数到達年度	耐用年数残年数	評価点	評価点	評価点	評価点合計
		築年数60年以上：10点 築年数50年以上：7点 築年数30年以上：5点 築年数25年以上：3点		残年数が0年：10点 残年数が5年以内：7点 残年数が10年以内：5点 残年数が15年以内：3点			洋式、男女区別及びバリアフリートイレ無：10点 男女区別及びバリアフリートイレ無：7点 洋式無で男女区別あるいはバリアフリートイレ無：5点 男女区別あるいはバリアフリートイレ無：3点	2階建て以上でエレベーターが無あるいは耐震化が無場合は5点	合計35点満点
三谷公民館	S46年	50年	7点	H21年	0年	10点	7点	5点	29点
天野公民館	S53年	43年	5点	H28年	0年	10点	7点	5点	27点
大谷公民館	S57年	39年	5点	R2年	0年	10点	0点	5点	20点
見好公民館	S53年	43年	5点	R10年	7年	5点	5点	5点	20点
笠田公民館 佐野分館	S49年	47年	5点	R6年	3年	7点	0点	5点	17点

具体的な整備計画について

上記評価表を基に、今後の公民館のあり方について、対象地域の環境や地域の利便性を考慮し、地元との建設検討委員会等と十分に協議し進めることとします。

(1) 改築あるいは建替えの必要性がある施設

● 笠田公民館佐野分館

方針：耐震診断を行い、結果に基づいた耐震化を図るための改修を実施
改修内容：改築（耐震補強）

(2) 今後の公民館等のあり方との整合性により、改修、改築の必要性がある施設

● 天野公民館

方針：他の施設との複合化及び施設再配置を検討
理由：他施設との複合化により施設利用者の利便性の向上を図る。

● 大谷公民館

方針：大谷児童館との複合化を検討
理由：他施設との複合化により施設利用者の利便性の向上を図る。

● 三谷公民館

方針：山崎児童館との複合化を検討
理由：他施設との複合化により施設利用者の利便性の向上を図る。

● 見好公民館

方針：平沼田児童館・名山児童館との複合化を検討
理由：児童館との複合化により施設利用者の利便性向上を図る